

令和7年度 香川森林管理事務所の重点施策

～ 森林・林業・木材産業によるグリーン成長実現に向けた取組の推進 ～

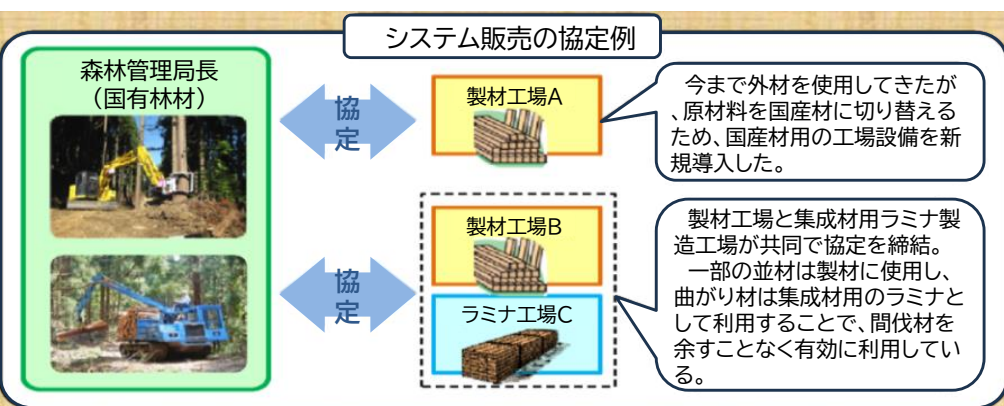
令和7年4月

香川森林管理事務所

1. 国産材の安定供給に向けた取組

- 森林管理局と加工製材者との間で国有林材（製品）の安定供給に関する協定を締結し、素材（丸太）をシステム販売します。
（R7年度予定：4.4千m³ ※素材（丸太）材積）
- 国有林材（立木）の分収造林地を含む立木販売を推進します。
（R7年度予定：16.1千m³ ※立木材積）
- 主伐跡地へは、形質に優れ花粉飛散量の少ない苗木を積極的に再造林し、森林資源の循環利用を確立に取り組みます。

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組み



※システム販売の対象は、素材（丸太）と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等です。

※誘導伐とは、複層林（樹齢や樹高の異なる樹木で構成され、樹冠が上下段違いに2つ以上形成されている森林）へ誘導することを目的に行う抜き伐りや小規模伐採を指します。

■ 香川森林管理事務所の国有林材の素材等販売量（実績）

（千m³）

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
素材販売	2.4	2.0	4.4	4.3	3.4
（システム販売）	(2.4)	(2.0)	(4.4)	(1.6)	(3.2)
（委託販売）				(2.7)	(0.1)
立木販売	1.6	8.2	11.1	9.2	2.5

■ 素材のシステム販売 （まんのう町 八丁64 土場）



■ 誘導伐 （まんのう町 三頭56）



2. 林業担い手の確保・育成への支援

- 令和6年度に開設された香川県立農業大学校の「林業・造園緑化コース」では、林業担い手の確保に取り組んでおり、香川森林管理事務所でも同校へ研修講師の派遣や実習フィールドの提供の支援を行います。
- 香川県、県内16市町及び香川県森林組合連合会からなる「かがわ森林整備担い手対策協議会」が実施する森林環境譲与税を活用した担い手育成・確保の取組に対しても、実技講習フィールドを提供します。



3. 地域の安心・安全を守る山地防災力の強化

- 香川県内の山地は花崗岩が風化したマサが堆積した箇所や泥岩、砂岩などのもろい地質の箇所が多く、一たび豪雨に見舞われると、土砂災害による被害が大きくなりがちです。
- そのため、地域住民の暮らしを支える道路や農業用水等の重要インフラを保全対象とした復旧・予防対策を実施します（R7年度：2か所（仲多度郡まんのう町、東かがわ市））。
- 災害発生時にはドローンによる現地調査を速やかに実施します。

■ 令和7年度 香川県内の治山事業の実施予定地区

治山事業：東かがわ市 兼弘

治山事業：まんのう町 柞多尾

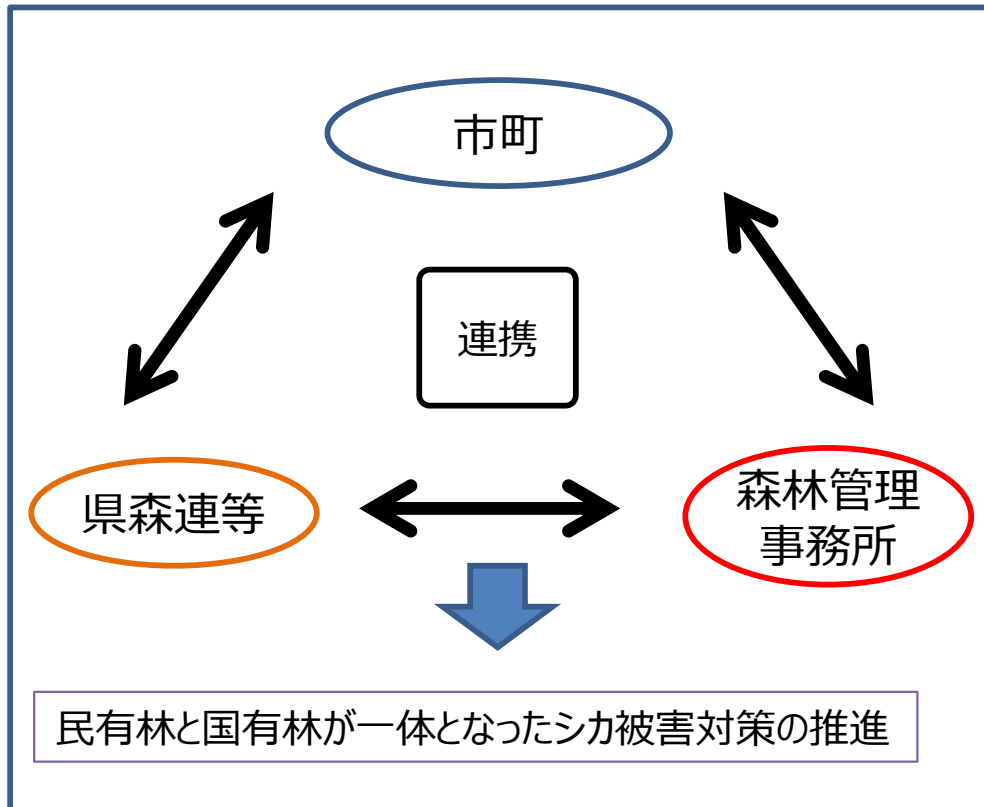


溪流に設置した堰堤（鋼製組立網床固工）

4. 香川県森林組合連合会との協定締結によるシカ被害対策の推進

- 香川県東部の徳島県境付近を中心に、ニホンジカによる森林への被害（苗木の食害、樹木の皮剥ぎ）が発生しています。
- このため、平成28年12月に香川森林管理事務所と香川県森林組合連合会はシカ被害対策連携協定を締結し、四国森林管理局が開発した小型囲いわな「こじゃんと1号」の無償貸与と捕獲技術の支援等を実施します。
- 協定に基づき、平成29年7月から、東かがわ市中尾国有林内の林道沿いに小型囲いわな9基とセンサーカメラを設置し、シカの捕獲と出没状況を定点監視します。

■ シカ被害対策連携協定



■ シカ被害対策連携協定のメリット

- ①シカの囲いわな等を無償で貸与
- ②国有林の入林手を簡素化
- ③車両の乗り入れによる捕獲推進のため国有林内の林道ゲートの鍵を貸与
- ④森林管理事務所がわな設置等の捕獲技術を支援

■ 軽トラにも積載可能な小型 囲いわな「こじゃんと1号」



■ 捕獲したオスジカ



5. シカワな遠隔捕獲通知システムの活用

- 香川森林管理事務所は、わなの巡回作業の軽減を図るため平成31年度に民間会社（(株)アイエスイー（三重県鈴鹿市））が開発した無線とモバイル通信を活用した「長距離無線式捕獲パトロールシステム（ほかパト）」を導入しています。ほかパト基地局（親機）を東かがわ市の中尾国有林に設置、その約10km圏内の山間部に設置している小型囲いわな 9 基に子機を取付けており、わなの作動状況は無線（LPWA）とモバイル通信を介して瞬時に捕獲者の携帯端末に通知されます。
- 東かがわ市と「ほかパトの利用等に関する協定」を締結し、同市で増大している被害を防止するための支援を行います。

■ 長距離無線式捕獲パトロールシステム

(出展)(株)アイエスイー資料

■ 基地局（通信距離10km以上）



■ 小型囲いわなに設置された（子局）



■ 小型囲いわなと子機



6. 集約化試験団地での実証

- 地拵えの省略、冬下刈りの導入、大苗と施肥を使用した低コスト造林やコウヨウザンなどの早生樹造林の取組並びにニホンジカ等による獣害対策の試験的な取組を1か所のフィールドに集めた「集約化試験団地」を令和2年度（2020年度）に設置し、香川県森林センター、林木育種センター関西育種場と連携して試験を行っています。

【試験団地の概要】

1. 位置等

- ・所在地：香川県高松市塩江町
- ・国有林名：鷹山33ヘ林小班
- ・前世樹：スギ・ヒノキ
- ・搬出：H30年度
- ・面積：6.32ha
- ・標高：800m～900m
- ・傾斜、方位：30°～南東
- ・地位：スギ10（1,900本/ha）
ヒノキ9（2,100本/ha）
- ・保安林：水源かん養保安林

2. ニホンジカ等の生息状況

- ・シカ生息密度：0.36頭/km²
- ・ノウサギ生息：生息

3. その他

- ・試験区①内に香川県、育種センター試験地設定
- ・試験区⑦に5種類の単木保護資材を施工
- ・5種類の獣害防止柵（ネット）を施工
- ・林内は作業道が多く配置されている

【試験区①】
《育種センター・香川県試験地》

【試験区②】
《大苗と施肥を使用した低コスト造林》

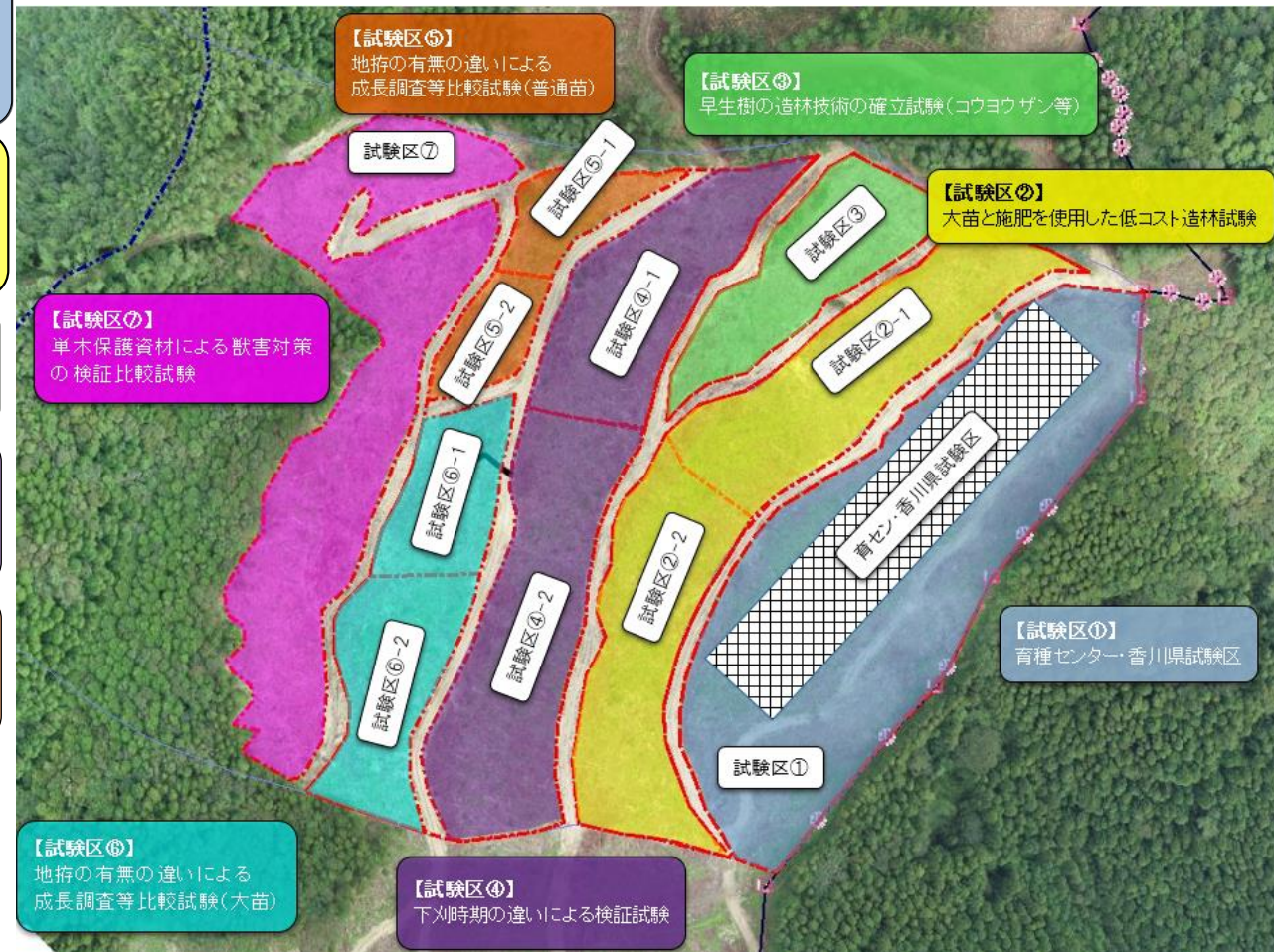
【試験区③】
《早生樹の造林技術の確立》

【試験区④】
《下刈時期の違いによる成長や作業工程の比較》

【試験区⑤】
《地拵の有無の比較（普通苗）》

【試験区⑥】
《地拵の有無の比較（大苗）》

【試験区⑦】
《単木保護資材による獣害対策の比較》



7. 飯野山＜讃岐富士＞の市民参加による登山道整備の推進 ～ 一日一石運動 ～

- 飯野山＜讃岐富士＞は、香川県丸亀市と坂出市の境に位置する美しい円錐形をした里山（標高422m）です。新日本百名山となっており、山頂周辺は瀬戸内海国立公園、飯野山風景林に指定され、県内外から多くの登山者が訪れています。
- 丸亀市、坂出市、登山者及び香川森林管理事務所が連携し、登山口に用意した修繕用の石と土を登山者が持ち運んで登山道を整備する「一日一石運動（土石の流出防止のためのヤシ繊維製の土嚢設置）」を引き続き実施します。

飯野山＜讃岐富士＞

- ・標 高 4 2 2 m
- ・所在地 丸亀市・坂出市
- ・4月22日の「讃岐富士の日」に里山まつり山開き式を開催



年間4万7千人もの登山者
(健康づくり等のため毎日登る人も)

飯野山の「一日一石運動」



谷らしい谷がないため雨水は登山道をたどって流下→荒れる登山道

4月22日の山開き式で
一日一石運動を周知



丸亀側登山口に
置いた砕石と花崗土



登山者が土と石を
持ち運び自ら修繕

修繕が進んだ登山道



安全な登山に寄与
市もHPや広報で情報発信